

# 融資涉外“キツキ”旅

第7話 保証協会との協調で行うオーダーメイド型支援

## 保証協会との「協調」の姿勢で 本業支援も見据え融資対応を検討

前回  
コロナ下で経営不振に苦しむ  
「巧旅館」へのサポートを  
決意した  
白川だったが――

巧旅館は  
年商1億  
1000万円：  
ただ  
インバウンド需要が  
旺盛だった昨年でも  
売上が500万円  
減少している…

どうして  
だろう？

既存融資の残高は  
7000万円

担保は旅館の  
土地・建物で  
評価は  
8000万円

返済期間が  
あとおよそ10年で  
毎月の返済が  
60万円か…

コロナ対策の融資は  
保証協会付きで  
月商の2ヵ月分  
借りられたから  
2000万円

しかしもうすぐ  
据置期間が満了して  
返済が始まる！

売上は  
まだ戻りきって  
いない…

さて  
どうした  
ものか…

う～ん…

巧旅館さん  
やっぱりすぐに  
前のようにお客さんは  
戻ってきてないようね

古今さん…  
そうなんですよ

このままでは  
今まどおりの返済は  
無理だろうね

とりあえず  
既存のプロパー融資の  
条件変更の稟議でも  
あげてみようかと  
思うんですが…

「とりあえず」って  
そういう  
場当たりの考えは  
やめたほうがいいよ？

「1度ですべてが  
解決する方法」を  
考えてみたらどう？

え…  
そうは  
いっても…

頑張って  
みますけど！

